

有機農家



マガモ

農林水産省
米産業活性化のための意見交換委員
(株)ファームフレッシュヤマザキ
山寄哲志さんが選ばれました!

新潟県三条市出身、山寄さんは無農薬栽培を行っています。今年は米産業活性化の意見交換会に選ばれ、感想を聞いてみました。
※担当:大臣官房 新事業・食品産業部
※裏面は農林水産省の資料となります。

生産者通信

(有)エコ・ライス新潟
定価 100円(送料込)



①意見交換会にはどうやって選ばれましたか。

今、稲作経営者会議という団体の青年部に参加しており、その先輩からの紹介を受けました。現場ばかりが仕事ではなく机上での作業や多くの人のお話を聞くことが大切だと言われて、参加を決めました。

②選ばれてどう感じますか。

まだ、数えるほどの参加経験しかありませんが、とても良い経験をさせて頂いているのを感じます。

③どんな人が参加していますか。

お米や農業のことを皆さん真剣に考えられている方ばかりだと思います。詳しくはHPもあるので見てもらえたらと思いますが、北から南の米どころの生産者や大手卸の方などの話を聞けます。

④意見交換会の際にどんなことを伝えたいですか。

まだ自分も勉強不足なこともあります。お米の魅力を伝えたいと思っています。

⑤日本の農業や新潟の農家さんの将来については、どんなビジョンを持っていますか。

私の思う農業はあくまでも、生きていく為の一つなので、これからも残していく努力と価値をあげていくことが必要だと思っています。また、新潟県は先人たちがお米を作る為に、大地を作り上げてくれました。もちろん、野菜や畜産も必要ですが、まずは目の前にある土をしっかりと使っていきたくと思っています。

⑥頑張っていきたいことがありますか。

お米の可能性を追求していきたいと思っています。



⑦生産者の皆さんへの言葉

私もまだ勉強中ですが、一緒に学んでいけたらと思います。

山寄さん、インタビューにお時間いただき
ありがとうございました。

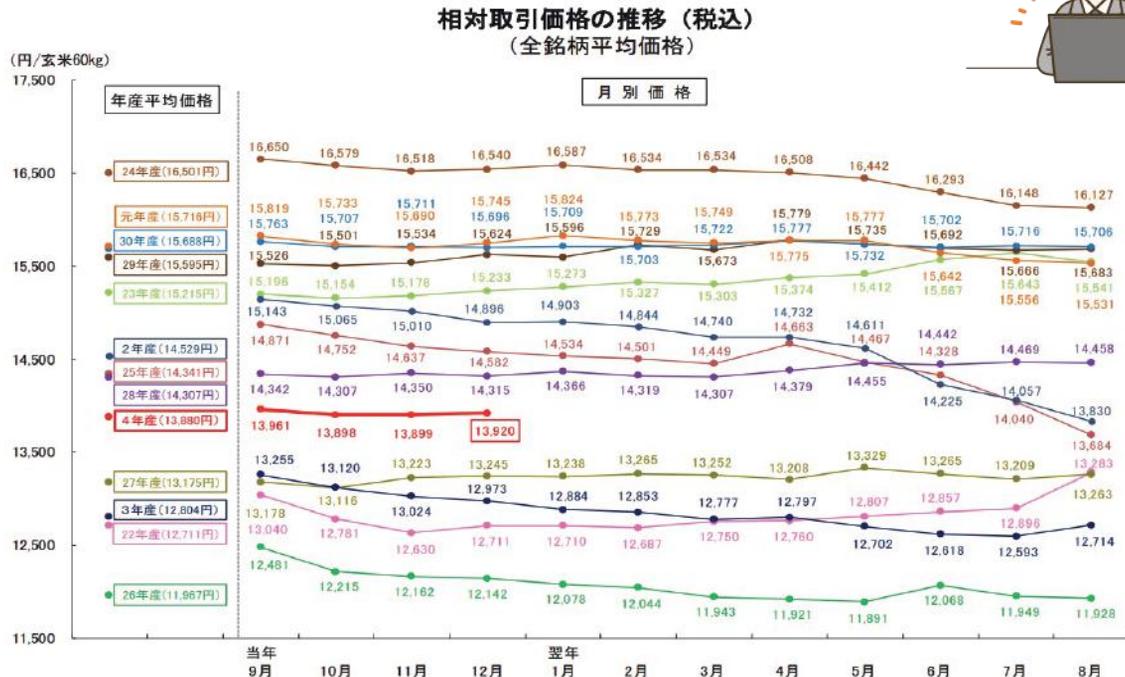
米産業活性化の意見交換会の際にはどんな話？

資料は農林水産省「米をめぐる状況について」より抜粋

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/komesangyou_ikenkoukan/ikenkoukan.html



○我が国における米の状況や...



○米の輸出をめぐる状況、海外市場について

品目名		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
							1~11月	対前年比
コメ・コメ加工品	数量(原料米換算)	28,685トン	32,226トン	35,531トン	36,569トン	45,959トン	48,914トン	+18%
	金額	264億円	309億円	329億円	347億円	524億円	557億円	+19%
コメ(援助米を除く)	数量	11,841トン	13,794トン	17,381トン	19,781トン	22,833トン	25,963トン	+27%
	金額	32億円	38億円	46億円	53億円	59億円	66億円	+25%
米菓(あられ・せんべい)	数量	3,849トン	4,053トン	4,033トン	4,222トン	5,141トン	3,978トン	-15%
	原料米換算	3,272トン	3,445トン	3,428トン	3,589トン	4,370トン	3,381トン	-15%
日本酒(清酒)	数量	23,482 担	25,747 担	24,928 担	21,761 担	32,052 担	33,200 担	+15%
	原料米換算	13,226トン	14,502トン	14,041トン	12,257トン	18,054トン	18,700トン	+15%
バックご飯等	数量	658トン	923トン	1,018トン	1,205トン	1,129トン	1,251トン	+23%
	原料米換算	346トン	485トン	535トン	634トン	594トン	657トン	+23%
	金額	3億円	5億円	5億円	7億円	6億円	7億円	+33%

1億人ではなく、100億人のマーケットへ

酒米がのびる...

